

2020年2月7日
株式会社ピクトリープ
代表取締役 小間 徳夫

32インチ無給電屋外表示システムの開発

株式会社ピクトリープ（代表取締役：小間徳夫、本社：新潟県上越市、日本化薬グループ、株式会社ポラテクノ子会社）は、

- ① 電源供給が不可能な環境下でも連続して表示可能で、
- ② 屋外の視認性に優れる

32インチ無給電屋外表示システムを開発しました。

従来の液晶ディスプレイや有機EL（エレクトロルミネッセンス）ディスプレイなどの大画面ディスプレイは消費電力が高く、電源供給のない環境下での使用はほとんど不可能でした。また屋外では太陽光が明るいため非常に見にくい表示になってしまうという課題もありました。

弊社では、32インチ高性能反射液晶に、バッテリー、太陽電池と夜間用照明を搭載した32インチ無給電屋外表示システムを開発しました。32インチ高性能反射液晶には、東北大学、日本化薬株式会社、株式会社ポラテクノの3者で共同開発した無彩色偏光板による高性能反射型液晶技術[1][2]を採用しています。この技術は、超低消費電力、優れた屋外視認性（表示例：図1）の両方を同時に実現するもので、無給電屋外表示システムのコア技術になっています。

本製品は、災害時や送電網が整備されていない地域での情報表示に有効です。横型（図2）と縦型表示システム（図3）があり、いずれも2020年2月より受注生産を開始します

[1] D. Fujiwara, N. Mochizuki, T. Ishinabe, D. Nakamura, N. Koma and H. Fujikake, IDW2013, FMCp2-13L (2013)

[2] N. Mochizuki, T. Ishinabe, D. Fujiwara, D. Nakamura, N. Koma and H. Fujikake, SID2014 Symposium Digest, pp. 1431-1434 (2014)



図1、屋外での表示の様子



図2、横型表示システム



図3、縦型表示システム

本件に関するお問い合わせ先：
株式会社ピクトリープ 営業部
E-mail : sales@picleap.co.jp

以上